

西之内町地車新調実行委員会通信

西之内町新調地車

彫刻の物語背景と紹介（1-3）

「槍摺りの鎧」

八十八夜過ぎの遅霜に季節も足踏みをしているようです。西之内町の皆様におかれましては、ますますお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。5月1日に予定しておりました『こども祭り』は雨による内容変更となり、町内を移動するだんじりの姿が見ることができず残念ではございましたが、知恵を出しあつて何かをするといつた成果は大きいものを感じました。

さて、今月も新調地車の彫り物の場面について少しご紹介します。新調だんじりの題材である『難波戦記』は合戦屏風や書物で後世に引き継がれておりますが、講談においても現在に伝わっています。

大坂冬の陣は今から約四百年前の十一月頃から起きました。そして年末年始を挟んで一旦和睦となり、翌年の四月の末から五月の七日八日ぐらいまでの短期決戦を夏の陣と言います。そこでは豊臣方は完全に殲滅され根絶やしとなり、これから徳

2022年5月号

新調通信に関するお問い合わせ
西之内町公民館
072-444-7712

川の時代が安泰するというのが教科書に載っている歴史であります。関東の講談ではその歴史に沿った形で語られておりましたが、大阪の講談の『難波戦記』では、豊臣方が実は徳川家康を討ち取ってしまうのです。そして、徳川家康に影武者がたちまして、徳川幕府は家康の偽物が治め始めたという話になつてているのです。

その『難波戦記』には、人気の物語が数々あります。中でも真田幸村の一説の人気は群を抜いております。「槍摺りの鎧」という物語です。

大坂冬の陣にて住吉大社に本陣を進めている家康は、長期戦となつてしまつたおり、関東から大軍を引き連れていたこともあって、陣中では故郷の留守を心配する声も出始めています。難攻不落の大坂城を一体どこから攻めればよいか探るために陣回りを行う予定をしていました。しかし、その情報がどこからか漏れ、大坂方の幸村に伝わり、それをもとに幸村は陣を進め、家康を亡き者にする作戦を企てるのです。初日は家康の天運よく陣回りに出るこ

とができず、家康影武者の米倉

和泉が、穴山小介（真田十勇士）の短箭に撃ち抜かれます。翌日、家康は家来の本田上野介の

シャツと槍を突き下ろします。

この槍が家康にズバッと突き刺さるうかとするそのとき、家来の大久保彦左衛門が「大御所様！」と叫んでガツと右手で家

康を抱え込んだかと思うと、横手へ逃げるのです。大久保彦左衛門が横手へ逃げたのですから幸村の槍が空を切ります。「おおっ？ 確かにいたはずなんだが」。すると横合いでのザブンという音がし、家康を抱え上げて隣の逃走を強いられることになります。そこに現れるのが、正真正銘の幸村。そのいでたちは右の大袖は赤糸、左の大袖は白糸源平威毛（げんぺいおどしわけ）の大鎧を身にまとい、名馬に跨り長柄の槍を小脇に抱えております。幸村は、家康の乗つていた馬がここに居るということは、おそらくは徒步にてどこかへ逃げたが年寄りのこと、さほど遠くまで逃げられるはずもなしと考えます。見ればヨシ、アシがだんだんだんだが見えたので、そこへ近づき、



槍摺りの鎧

します。すると幸村は「この辺り

だな」と、槍を突き立てます。突き

目の槍が大久保彦左衛門の鎧をシ

ュッと掠る。「手ごたえあり」。いま

ひとつシユツ、また掠る。しかし、

今しも四つ目を突こうとした時に

後ろから「大御所様!」。旗本連中

おおよそ五百名ばかり攻め上がつ

て参ります。幸村は「しまった。運

の強い家康である。また戦場でお会

いいたそ」」とその洞の中に声をか

けますと、頭を帰して大坂城に戻り

ます。

この場面は、五軒屋町の正面土呂

幕として有名ですが、西之内町の新

調だんじりにおいても、前述の登場

人物である幸村の槍を突く先や、葦

の中に隠れる彦左衛門と家康の緊

迫感を、土呂幕以外の部分で巧みに

表現しております。ご期待ください



内覧会実施

内覧会開催実施

新調地車の装飾品

進捗報告

「旗頭」

5月1日新調だんじり彫刻の内覧会を実施いたしました。無事開催

できることに感謝申し上げます。

山本師のお弟子さんが行う実演

の彫り物も、実際の新調だんじりの

一部であり、ご覧いただいた方には

どの部分になるのかも今後のお樂

しみであります。

今後の予定では、日程は未定ですが、屋根周りの彫り物や見送り部分

の彫り物のほか、装飾品の旗、幟、

纏や金綱や太鼓、鉦を皆様にお披露

目できるように計画して参ります。

ご期待ください。

装飾品の旗、幟の先についている

旗頭や毛板、ヤク毛の一部が完成し

一部であり、ご観いた方に

新しい色使いの中に、豪華な主張もし

つかりと行つており、かなり期待の

段階確認を行いました。西之内町ら

しい色使いの中には、豪華な主張もし

つかりと行つており、かなり期待の

段階確認を行いました。西之内町ら

しい色使いの中には、豪華な主張もし

つかりと行つており、かなり期待の

段階確認を行いました。西之内町ら

る段階を一連の図と詩で表したものを見
刻の世界観で表しております。難しい試
みですが、山本師は独自の世界観で表現
しております。

見送り虹梁には、兵主神社の伝記を彫
ります。兵主神社の宝物に関する物語で
す。こちらも後日ご紹介いたします。

彫り物の製作期間は、地車の組み立て

期間を考慮するとあまり時間がない中で

はありますが、山本師は急ピッチで進め

せん。ご期待ください。

彫り物の製作期間は、地車の組み立て

期間を考慮するとあまり時間がない中で

はありますが、山本師は急ピッチで進め

せん。ご期待ください。

彫り物の製作期間は、地車の組み立て

期間を考慮するとあまり時間がない中で

はありますが、山本師は急ピッチで進め

せん。ご期待ください。

新調委員の独り言

内覧会も開催し、新しい彫り物がどんな

ものであるかを実際にご覧いただけまし

た。しかし、コロナ禍で祭礼などが満足に

出来ていない中で、この新調事業に対し

も、盛り上がりにかけている感は否めない

ところです。これから町内全体で新調に向

けて盛り上がりにかけている感は否めない

ところです。これから町内全体で新調に向

けて盛り上がりにかけている感は否めない

ところです。これから町内全体で新調に向

けて盛り上がりにかけている感は否めない

ところです。これから町内全体で新調に向

「枠合の荒彫り完了」

進捗報告

新調地車の彫り物

進捗報告

「枠合の荒彫り完了」

進捗報告

を考えていくたいと思ひます。

また、新調事業に対しての任意のご寄付

も受け付けております。お問い合わせは、

西之内町会館にて承ります。何卒宜しくお